

全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2015年11月24日発行

No.2

北海道青年集会

のぼりべつといえば…

10月17～18日、第3回北海道地方協青年集会在開催されました。6支部45名の青年が登別に集合しました。

1日目は、北海道地方協青年委員が企画した散策を行いました。チェックポイントはどこか、班で協力しながら見つけ、写真を撮ったりしました。途中でソフトクリームを食べたり、班の仲間と楽しく散策をしました。

夕食交流会では、チェックポイントの正解率が高かった班と送られた写真がユーモアだった班に景品が贈呈されました。その後の各支部紹介では、個性的な支部の紹介があり、とても笑顔がいっぱいの夕食交流会となりました。

登別温泉について

北海道 CMでお馴染みの「のぼりべつといえば…クマ牧場」も有名ですが、温泉も有名です。日和山（ひよりやま）の噴火活動によりできた爆裂火口跡。谷に沿って数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が「鬼の棲む地獄」の由来となったそうです。登別温泉の地獄谷から地獄の釜のふたが開いて、閻魔（えんま）大王が鬼たちを引き連れて登別温泉に訪れるという伝説もあるそうです。



2日目は、伊達時代村で武家屋敷、カラクリ満載の忍者屋敷に入り、江戸の街を散策しました。中には、着物や忍者衣装を身にまとい、散策をしている青年もいました。迫力のアクションや華麗なパフォーマンスのある時代劇を鑑賞し、楽しみました。普段話せない職場の悩みやプライベートの問題を支部間を越えて話している姿が印象的でした。



四国青年集会

愛顔(えがお)あふれる 青年集会!

10月22、23日、愛媛県松山市道後温泉にて四国青年集会が開催されました。7支部21名の青年が参加しました。

最初に、ホテルに集合。現地ガイドさんの案内による「パワースポットとスイーツめぐり」の企画に全員参加。まず、女性写真家・映画監督として活躍の蜷川実花(にながわみか)×道後温泉道後アートで彩られている今年改築121年の道後本館へ移動し、四国八十八カ所霊場第51番札所「石手寺」についてお話を聞きました。参加者は石手寺に置いてあるパワーストーンなどを触れながら、パワースポットを次々とめぐりました。その後、3カ所に分かれて、道後のスイーツ店で地元の銘菓を堪能しました。

ホテルに戻り「労働組合のABC、私たちと労働組合」についてパワーポイントで学習しました。労働組合とは?から始まり、他の地方協の青年部の取り組みを紹介しながら、労働組合の大切さを強調しました。その後、2グループに分かれ、話し合いをしました。自己紹介や職場のことを語り合いました。

職場のことでは「年休がとりにくい雰囲気だ」「休憩取れなくても超勤申請していない」「夜勤人員を増やしてほしい」など具体的な要求が出てきました。また次回の青年交流集会について希望を聞き、「バーベキューをしたい」など今後の企画の参考になる意見が出ました。夕食交流会は、2班対抗でゲームをしました。ボール運びや、輪くぐりなどみんなで協力しなければいけない競技は協力連帯して真剣に取り組んでいました。負けたチームは罰ゲームで大いに盛り上がりました。

2日目は、砥部焼(とべやき)の工房に場所を移し絵付け体験。みんな真剣に絵柄を考え、素焼きの器に絵付けを行いました。焼き上がり予定は12月中旬です。出来上がりが今から楽しみです。



【お遍路】

最近健康増進、パワースポット巡りなど色々な使い方があるお遍路。そもそも「お遍路」とは、弘法大師(こうぼうだいし)(空海)の足跡をたどり、八十八ヶ所の霊場を巡拝することと言われています。

